

大学経営改革のための アメリカ教員評価とその展開セミナー

日時 東京平成13年11月13日(火)13:30～17:00

大阪平成13年11月7日(水)13:30～17:00

会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

会場 梅田スカイルーム

対象 大学理事長・事務局長の方々

講師 研究事業本部人事戦略クラスター(東京)

主任研究員 赤堀新一

研究事業本部人事戦略クラスター(大阪)

副主任研究員 久保田智之

(*両会場とも同一内容となります。)

研究員 下垣内智

参加のおすすめ

大学経営を取り巻く環境が厳しさを増す中で、大学改革のために「何から着手すべきか」、「何を優先すべきか」について、関係者の認識は必ずしも同じものではありません。

このセミナーでは大学改革について、組織・人事システムの観点から先駆的立場にあるアメリカの組織運営・教員の評価システムについて最新の調査事例をもとに解説を行ないます。

(調査対象校:研究系私立大学、研究系州立大学、リベラルアーツ系私立大学、教育系州立大学)

さらに、各大学の状況認識に基づき教員評価を軸とした組織・人事システムの改革について、その展開フェーズの提言を行ないます。

セミナープログラム

1. 大学改革の現状と課題

- (1) 財務の観点からの問題点
- (2) 社会的使命と教員の役割の変化
- (3) 組織・人材構造の問題点
- (4) 人事(処遇)制度の問題点

2. アメリカの大学経営改革と教員評価

- (1) 大学経営改革の背景
- (2) アメリカの大学組織
- (3) 教員の区分と報酬
- (4) テニユア制度に基づくアメリカ教員の採用・評価・処遇の実態
 - 採用
 - プロモーション(昇進)
 - 評価の手順と方法
 - 準教授・助教授への昇進
 - FD(ファカルティー・ディベロップメント)
 - 給与の決定と評価要素
 - 退職

3. 日本総研が提案する大学における評価制度

- (1) 教員システムの改革
 - 仮説 :新ビジネスモデルを前提とした事業計画、組織・人材構造の再構築
 - 仮説 :教員マネジメント(日本型雇用の改革)を前提とした教員人事制度の改革
 - 仮説 :コアとなる教員の発掘・開発を前提とした教育評価システムの改革
 - システムの基本構造
 - 評価システムの改革における基本手順
 - 教員評価システムの構成
 - (プロトタイプを紹介)
 - 運営上の留意点
- (2) 職員
 - 能力・役割に基づく人事システム
 - システムの基本構造
 - 評価システムの改革における基本手順
 - 展開事例の紹介